



年間20万件におよぶ経理証憑の電子保管を実現し、 経理処理業務の抜本的な構造改革を推進

早稲田大学



問い合わせ対応時間を半減し、各部署の業務も効率化

中長期計画「Waseda VISION 150」のもと、研究・教育から組織運営まで幅広い領域にまたがる改革を進めている早稲田大学は、経理処理業務についても抜本的な構造改革を実現すべく、全学を挙げたプロジェクトを推進している。この取り組みを支えるシステム基盤の一つとしてウイングアーク1stの文書活用ソリューション「invoiceAgent 文書管理」を導入した。経理証憑の電子化および電子保管を実現することで、問い合わせ対応を担っているアカウンティングセンターおよび各部署の業務を大幅に効率化した。

早稲田大学 財務部経理課 課長 三好 裕明氏、財務部アカウンティングセンター 課長 上松 朋子氏

Summary

概要



背景・課題

- 年間20万件におよぶ支払伝票を紙で管理していたため、保管のための場所が必要
- 各部署担当者が過去の証憑を確認するのに時間がかかっていた
- アカウンティングセンターでは、各部署担当者からの問い合わせに対応する負担がかかっていた



解決策

- 処理完了した経理証憑を invoiceAgent 文書管理に保管することにより、各部署の事務担当者が自席から invoiceAgent 文書管理にアクセスし、証憑を確認できる仕組みを実現
- 既存システム環境に合ったオンプレミス型で invoiceAgent 文書管理を利用



効果

- アカウンティングセンターにおける問い合わせ対応時間を半減
- 各部署における経理証憑の二重管理を解消し、原本保管を徹底



invoiceAgent 文書管理

あらゆる帳票の仕分けから保管、検索、他システムとの連携も可能な文書管理ソリューション。
電子帳簿保存法に対応した安心の電子文書管理を実現し、コスト削減、ガバナンス強化、ペーパーレス化を推進。



電子帳簿保存法への対応も視野に、 完全なペーパーレス化を目指す

早稲田大学では、2018年度に経理処理業務でRPAを導入して定型処理を自動化。さらなる効率化を図るために、紙の状態でも保管している経理証憑のデジタル化に取り組むことにした。

経理証憑は、同学の各部署からアカウントセンターに集められ、その件数は年間で約20万件に達する。紙で回ってくるこれらの伝票は、RPAにより会計システムに入力されたデータと照合され、支払データの作成を完了していた。その後、紙の伝票は処理済みの証憑としてファイリングし、保管するという流れだった。

ただ、これで終わりではなく、各部署の事務担当者から過去の証憑を確認したいという依頼を受けた際や、監査で求められた際には、必要な証憑を書庫から探し出し、コピーをとって学内便やFAX等で送付するという作業が発生する。こうした問い合わせは年間4,200件程度あり、毎日2

時間以上をその対応に費やし、コピーの紙代や印刷費も相当な額に膨らんでいた。

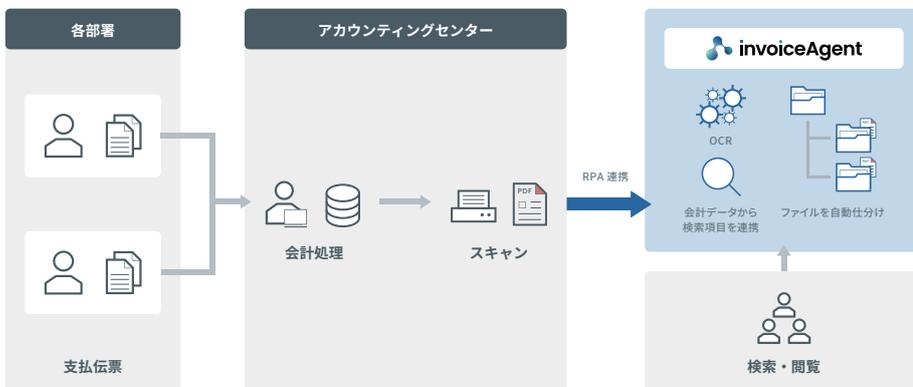
こうした課題を解決するために導入したのが、文書活用ソリューション「invoiceAgent 文書管理」だった。すでに導入されていたRPAとの互換性、検索機能、閲覧権限の設定、電子帳簿保存法のスキャナ保存ソフトとしてJIMA認証を取得していることなどを満たすとともに、他大学での実績などが評価された。

invoiceAgent 文書管理の導入によって、アカウントセンターおよび各部署の事務担当者の業務は大きく軽減された。アカウントセンター側での問い合わせ対応時間は、現在では1時間程度まで半減され、この先さらに証憑の電

子化が進むことで、対応時間がゼロに近づくことが期待されている。また、各部署においても、従来は支払伝票を提出前にコピーして保管するケースが散見されていたが、invoiceAgent 文書管理の定着によりこうした二重管理も解消されつつある。

同学では、将来的には電子帳簿保存法への対応も視野に入れ、経理処理業務のワークフロー全体をエンドツーエンドで電子化し、最終的には完全なペーパーレス化を実現するという構想を描いている。こうした全面的な帳票電子化の基盤として invoiceAgent を活用し、大学運営業務全般のデジタルトランスフォーメーション (DX) を推進していく。

invoiceAgent 文書管理の導入で経理証憑の電子化および電子保管を実現



※2022年6月より「SPA」および「SPA Cloud」は「invoiceAgent 文書管理」「invoiceAgent AI OCR」に名称を変更しました。

早稲田大学

所在地 : 東京都 新宿区
URL : <https://www.waseda.jp/>

前身は大隈重信によって1882年に創設された東京専門学校。1949年に新制大学となり、現在は10の学院(政治経済学院、法学学院、文学学院、教育・総合科学学院、商学学院、理工学院、社会科学総合学院、人間科学学院、スポーツ科学学院、国際学院)のもと13学部・22研究科を設置している。創立150周年(2032年)に向けた中長期計画「Waseda Vision 150」を掲げ、「世界で輝くWASEDA」となることを目指している。

サイト内でより詳しく
ご紹介しております。

[https://www.wingarc.com/
product/usecase/384.html](https://www.wingarc.com/product/usecase/384.html)

